

乙號
共二冊

日清事件

二十八年

三十五年九月廿日讀
香山靖雲樓

早稲田大学図書館
文書27
B 59
2

廿二

一月下里留大臣元新年祝嘏之節持奉大臣
出常歡飲並成服御湯丸を祈い候へども
運白ヒルことを祈り候へども
錯き更向御村向後方我痛く
り。此患持舊疾あり。遂に人我宅より
を脱せんとす。其時
土。里向伯と訪偶然再の相会。唐より滋多満
新名。欲み深成。海濱。事。及。以。相。持。西。原
。新。持。我。思。し。出。候。功。事。我。方。る。留。候。に
。招。け。り。古。以。為。て。了。り。唐。飲。も。得。ず。と。思。ひ。候。

有物親王廿二日午後六時刻所由あり
 此等十時劇家長松氏二月に赴くあり
 十日
 神口五生等片日あり、新嘉坡あり

娯知ノ為使
 正使 張蔭桓
 副使 邵友濂
 佘廷芳
 張

講和使顧問
 米利加
 顧問 福斯達

一月七日
 バンクーバー港ヲ開帆セリ

一月七日 發北京
 一月十二日 發天津

十三日 着上海

十八日 上海各領事ヲ各礼ス

廿六日 發上海 エムプレスオウフニヤリヲ號ニ搭シ
 長崎馬関ヲ經テ神戸向ヒ同所ヨリ汽車ニテ夜間
 郵船定ヨリ書記官譯官從者各テ六十餘名

廿八日 午前七時着長崎ト後六時向神戸

三十日 今晨二時過テ漸着神戸 尾張丸
 同日午前十時五十分神戸上陸 西使節ヲスル氏午後二時宇品

一月 二十日 着横濱。又同日 去横濱 奥
 加奈田卿船ヲデレスラフニシテヤリ

二十三日 着神戸

二十四時刻着佛八十番ホテル、到着ス
 此船上海ヨリナリレミフ氏宛テ一電報發シ遣シ之リ
 見テ俄ニ手廻リ荷物ヲ纏テ上陸シ此港在テ事ニ感レリ。米使ガシ
 氏同族ナリ

二十七日

二十八日

三月一日 從黑田竊見清廷、李鴻章、與委任

二日

三日

海軍聯合艦隊司令官伊東祐亨廣島歸着

訪長政病

四日

牛莊大激戰十三時間市街戰野津司令官ダイマール家
屋ヲ壊破ス敵兵戰死千八百八十人

五日

六日

我軍ハ北京米公使ヘ媾和使二週間内ニ来レト訓令
占後家油 占領高刊

七日

第二軍第二軍協議占領營口

八日

九日

諸師團三面合擊牛田庄臺ヲ占領ス敵兵戰死二千

十日

十一日

十二日

十三日

此日午後二時十分北京發音前九時十分上海發音
清廷媾和談判、新議之ヲ要旨、對朝鮮國、
支拂フ會ニ大い多寡ハ全權委員之決スベシ
松方伯多、因テ神戶ヲ向廣島

十四日

李鴻章發天津、黑田大臣伊東輪長廣島向

十五日

〇黑田伯 午後蘇丹島着

十六日

黑田松方院長、松方大藏大臣、此ノ

長政、佐藤三吉、
治療ヲ勤ム

長政、後二時刻
櫻村病況

長政、後二時刻
斷

長政、病有元氣

長政、此夜母眼
大ハ昇リ病親

大ハ午後時病
院、別

十八

李鴻章馬関有。

二十日 李昭年上河春帆樓第一回見

二十日 奉悅樓第三回見 常引樓音

二十一日休會

二十三日休會

二十四日春帆樓第三面見

二十五日 黑田伯 駕依子 廣島向了

黒田歸來此夜大久保七年ノ
清國ヨリ返郷シテ五十歳迄都立
子成中ヲ建業ノ陸奥ノ道ニ

二十六日

二十七

ニ
ハ
ハ
ハ

三

三十一

二

三

八

二

六
月

伊藤忠西郷
會于大本營

二十日 閏休兵

黒田ノ屋萬石ノ藏ニシテ
伊藤ノ聲ニ感泣セリ
夢ノ不問意
思留痛ニサリタ

李經方書遷

七日

八日

九日

十日

十一日

十二日

十三日

十四日

十五日

十六日

十七日

負傷者多(内中死傷者)

高麗方面に於て

春風新雪見

馬関嶺に調印済

李鴻章出帆

澎湖島砲撃

三月廿二日ハリノ新電書

此レヲ是レ忍ブベシハ孰レ忍ブベカラシ

將來東方、禍害此、勝胎スベシ

如何シシハ我國清國、兵仗ヲ接スル原因ハ朝

鮮内治ノ干渉、出ツ當時清國ハ韓王ヲ依頼

應シ鎮撫ノ為朝鮮身出ツ派遣ス猶天津條

約、基イテ派兵ノ事ヲ我政府、照會セリ我政

府、ハ狐疑ヲ混成旅團ヲ組織シテ八千ノ

陸兵京城、派清國、東學黨鎮撫、兵奇、然、日本、教信、各、送、空、回、白、遂、
韓廷改算、事、清廷、協議、清廷、之、應、七、日、
廷、適、五、處、かゝる、若、是、事、事、、對、諸、逆、
牙、山、成、歡、後、墨、島、海、戦、、為、

豐島戰、我、挑、戦、彼、不、意、其、勝、敗、

其、後、清、廷、の、用、を、、支、心、の、、朝、鮮、平、壤、集、合、日、兵、
拮、抗、其、本、の、、固、其、戰、及、之、、清、兵、敗、走、海、上、の、、
三、重、海、海、、戰、遂、の、、彼、兵、艦、數、艘、の、、沈、

海、戦、能、力、の、、缺、損、を、、其、後、陸、戦、の、、遼、東、半、島、の、、
掠、を、、連、城、海、城、の、、江、の、、山、海、関、の、、一、將、の、、進、攻、
勢、の、、其、極、旅、順、口、の、、咸、海、衛、の、、占、略、の、、駭、北、京、の、、
進、の、、形、勢、の、、を、

於是、の、、清、兵、自、の、、降、の、、の、、使、の、、の、、馬、関、の、、来、

此時、若、の、、日、本、公、道、の、、の、、日、清、の、、戦、争、の、、朝、鮮、の、、處、の、、上、
見、の、、果、の、、此、の、、騎、虎、の、、勢、の、、相、成、の、、の、、彼、の、、降、の、、の、、の、、
低、頭、の、、和、の、、求、の、、我、の、、在、の、、軍、餉、の、、償、出、の、、の、、又、の、、其、の、

遼東幾多ノ地ヲ分割スルハ

然レ事ハ不_レ出_スル者_ニ馬_ニ國_ニ請_フル_ニ來_ル國_ニ難_シ
宋_ニ新_キ兵_ヲ艦_ヲ救_フ艦_ヲ馬_ニ國_ニ通_ス過_ル極_ニ恐_ル嚇_ル
日_ニ派_ス兵_ヲ據_ル岸_ヲリ_テ衛_ル間_ヲリ_テ澎湖_ノ島_ノ地_ヲ守_ル
當_レ幼_キ朝_ノ鮮_ノ派_ス兵_ヲ時_ニ義_ヲ戰_ス溫_ノ伐_ス其_ノ地_ヲ起_ル異_ニ
此_ノ人_ハ頗_ニ異_ニ不_レ堪_ル此_ノ人_ハ是_ノ執_ル不_レ可_レ忍_ルナリ

三月十二日此夜黒田之坊鈴木大亮伏敵有願あり
官に死ありし

十三日

十四日 黒田大用召第二回向度島
は赤松幸長と云ふ者なり其島に松あり

十五日

十六日 黒田大用召第三回向度島
は赤松幸長と云ふ者なり其島に松あり

十七日

三月十八日

十九日 坊鈴木大亮

二十日 三條平一

廿一日 三條平一

廿二日 三條平一

廿三日 三條平一

廿四日 三條平一

廿五日 三條平一

廿六日 三條平一

廿七日 三條平一

廿八日 三條平一

廿九日

三十日 西國全勢北三週間休兵約定

春書

黒田大用召第三回向度島
は赤松幸長と云ふ者なり其島に松あり

四月一日馬閑書留之書以送完

四月

廿六日山縣為

三十日旅ツ只着

五月二日 旅順大總督

小松宮

川中將常

泰山野史

依多增

時平

以書預見（于）交元
宛上縣來舍六
五月二日會議之

國民軍
台
放
一

丹下之文
旅亭之文

○ 〇
金州 野澤
大山あり
二五

金銀地絡習他々馬アリ

○三里大連橋
○三時開會旅順上流

廿六、野金剛寺、大坐、竹、
日、旅、竹、越、上、竹、暴、風、雨、竹、舟、竹、

山縣五月、
五月、
五月、
五月、
五月、
五月、
五月、
五月、
五月、
五月、

二十八年 五月廿五日
 岩井大尉直話

廿一日	吉	廿六日	廿年一月一日
廿七日	吉 張蔭桓着天津	廿七日	乃木隊金州熊成
廿八日	十三日 張蔭桓着上海	廿八日	乃木隊金州熊成
廿九日	十四日	廿九日	乃木隊金州熊成
三十日	十五日	三十日	乃木隊金州熊成

三音	第二軍大山將 山東省紫城河 上陸	二十六日	三音
		二十七日	三音
		二十八日	山東登州
		二十九日	三音
		三十日	百尺崖砲台ノ願 大寺女將戦死

二月一日	六日敵砲台に撃 隊敵ノ水雷艦 一隻出テ来リ第 一游撃隊ニ交シ 生芝郡砲台ニ迫 リ之ヲ砲撃ス	七日	十日
三音	十日。敵和洋艦 全八時敵砲艦 白旗ヲ上テ来ル 島旗艦ヲ砲撃ス 廣内艦長程壁 克来	八日	十一日
三音	劉公島日島固守 第二游撃隊午前 午後廣内艦戰死 紫招傷	九日	十二日
四日	拂曉水雷艇第二 第三部隊十艘ヲ 敵艦ヲ砲撃ス 九号艇ニ被テ沈 リ沈没ス	十日	十三日
五日	第一艦三隻ヲ 来速威遠外一 艦ヲ沈ム	十一日	十四日
		十二日	十五日
		十三日	十六日
		十四日	十七日
		十五日	十八日
		十六日	十九日
		十七日	二十日
		十八日	二十一日
		十九日	二十二日
		二十日	二十三日
		二十一日	二十四日
		二十二日	二十五日
		二十三日	二十六日
		二十四日	二十七日
		二十五日	二十八日
		二十六日	二十九年
		二十七日	三十日
		二十八日	三十一日
		二十九日	
		三十日	
		三十一日	

丁汝昌艦隊 多戰	二十一日 海城附近 敵來 我軍大勝 六萬五千餘人	二十六日	
公海 不來水雷 船	二十三日	二十七日	
丁汝昌艦隊	二十四日 清軍正月二十九	二十八日 敵軍 石頭山 敵軍 下九十八	
丁汝昌艦隊	二十五日 日曜 廣島 日方 敵軍 伊藤 大平山進駐		
長城 日方	二十六日		

三月廿四日 李鴻章 未和 日清間	六日 第二軍 後方	七日 第二軍 後方	十六日
三月廿五日 李鴻章 未和 日清間	八日 第二軍 後方	九日 第二軍 後方	十七日 井上
三月廿六日 李鴻章 未和 日清間	十日 第二軍 後方	十一日 第二軍 後方	十八日 伊藤
三月廿七日 李鴻章 未和 日清間	十一日 第二軍 後方	十二日 第二軍 後方	十九日 李鴻章
三月廿八日 李鴻章 未和 日清間	十二日 第二軍 後方	十三日 第二軍 後方	廿日 第一回見

廿一日 第三面見 李陽者不引 李、實	廿六日 澎湖島之全 澎湖島 伊藤茂馬関	三十一日 三十一日	廿二日 休會 井上毅會葬	廿七日 廣島會戰 伊藤、黑田、末次 久義休兵	廿八日 伊藤西郷向馬 伊藤西郷向馬 伊藤西郷向馬	廿九日 第三面見 馬公城、石、頭、下 白川宮、近衛、廣、東、東	三十日 西國全柱三回 月休兵定約
-----------------------------	------------------------------	--------------	--------------------	---------------------------------	-----------------------------------	--	------------------------

四月一日	六日	十日	十六日
二日	七日	十一日	十七日
三日	八日	十二日	十八日
四日	九日	十三日	十九日
五日	十日	十四日	二十日

五月一日 倫敦四月廿一日 英國嚴正揚 露獨心圖國 三國	二十九日 日本學堂 大奉堂 皇太后 皇太后 皇太后	二十九日 此日三國 此日三國 此日三國	二十九日 伊勢 伊勢 伊勢	二十九日 伊勢 伊勢 伊勢
五月二日 倫敦四月廿二日 英國嚴正揚 露獨心圖國 三國	三十日 日本學堂 大奉堂 皇太后 皇太后 皇太后	三十日 此日三國 此日三國 此日三國	三十日 伊勢 伊勢 伊勢	三十日 伊勢 伊勢 伊勢
五月三日 倫敦四月廿三日 英國嚴正揚 露獨心圖國 三國	三十一日 日本學堂 大奉堂 皇太后 皇太后 皇太后	三十一日 此日三國 此日三國 此日三國	三十一日 伊勢 伊勢 伊勢	三十一日 伊勢 伊勢 伊勢

六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

五月一日 倫敦四月廿一日 英國嚴正揚 露獨心圖國 三國	二十九日 日本學堂 大奉堂 皇太后 皇太后 皇太后	二十九日 此日三國 此日三國 此日三國	二十九日 伊勢 伊勢 伊勢	二十九日 伊勢 伊勢 伊勢
五月二日 倫敦四月廿二日 英國嚴正揚 露獨心圖國 三國	三十日 日本學堂 大奉堂 皇太后 皇太后 皇太后	三十日 此日三國 此日三國 此日三國	三十日 伊勢 伊勢 伊勢	三十日 伊勢 伊勢 伊勢
五月三日 倫敦四月廿三日 英國嚴正揚 露獨心圖國 三國	三十一日 日本學堂 大奉堂 皇太后 皇太后 皇太后	三十一日 此日三國 此日三國 此日三國	三十一日 伊勢 伊勢 伊勢	三十一日 伊勢 伊勢 伊勢

六日 七日 八日 九日 十日 十一日 十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日 十八日 十九日 二十日 二十一日 二十二日 二十三日 二十四日 二十五日 二十六日 二十七日 二十八日 二十九日 三十日

日月 日月 日月 日月 日月 日月 日月 日月 日月 日月

中井 昭
前田 吉
井上 毅
早田 照

五月九日午後五時伊藤総理大臣より
黒田樞密院議長に以て状を函にお
たふすなり

只今伊東已代治より電報が来りて其
准を済み日人の喧嘩の由なり
はあきなるなり

五月九日

博文

黒田樞密院議長殿

以電報の辨理大臣より直達を承りて
之を報に亞米利加公使より轉おせしもの

[illegible][illegible]

十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月
榎家族向伊者候		松平氏贈書状			理髮四侯陞叙二伯子			黒田伯子贈書状	
				贈黒田中書狀一侯立見				午後黒田伯子訪對飲	
			午後黒田伯子訪對飲						
			小幡伊左衛門						

[illegible]

九月 一日	六時十分表伊香保歸菜	薄暮歸宅	夜黑田點七尾鰯
二月 二日	晴暑	午後一時初孫誕生 黑田	大八時點七尾鰯
三月 三日	晴	午後黑田訪對砍七月望月始	
四月 四日	晴	黑田祝儀免所當歸來	晴二時半始
五月 五日	晴可三郎回鎌倉	晴多武士訪り	
六月 六日	廿六一人來	午前勝伯訪祝儀り	夜明月在天
七月 七日		芝川來	
八月 八日	書類取湯	午後雨如常	
九月 九日	晴暑 未頃止也	午前雨如常	可平午後始
十月 十日	晴暑大業 臺上敗達柳	午後雨如常	在北堂始的

[illegible]

[illegible]

九月 一日	張家秋伊者數 薄著歸宅	夜黑河贈與七尾
八月 二日	午後一時初孫生男 子有	夜黑河贈與大尾 魚
八月 三日		夜談黑田鱈魚坡七月廿四明月好
八月 四日	黒田、經市病友滿福一二月月物	昨夜少雨
八月 五日	可平錦倉行 治多園武匠也等	昨夜少雨
八月 六日	芝刈人	明月在天
八月 七日	芝刈人	晚雨來
八月 八日	朝来如雪	出也後便并
八月 九日	書柳片竹	橙保愛紙
八月 十日	上段軍棚止 過光寺	日吉野所理安
八月 十一日	登利島八重敷燈	幸至也

蘇軾

壽

乙卯八月十一日

國子監印
常上子收

良
及

大八子張源及隨員三員、馬訪蓬一員同案審行

漢碑一卷附錄

初八日
對飲觀月
初八日
衰
觀月

觀月

十月九日

早起已卯斗室一日記玄物類之類

形

睦田孫氏采西鄉之傳之編纂上

木濟ミ佐サ費ヒ大久保收貯吉判キ

多
助
々
々
大
久
保
侯
吉
村

白く亭々偏管属す

吉升康寅為梅新築之梅

親月松方稅司爲、去井任給

う 贈 坊 長 義 方 之 詩 七 絶 吳 永 叔

吉井 龍月
之と何れにス
付彼をんを成い
事と陰、身と
漸く

荒川之北、新堀之末、尾七

兎来より黒田より十年又たるに
 中利及大田より再十更に才野地より
 老見より口より梅乃に贈るを平
 一見より馬田大田領あり思ふ
 たり馬田大田領あり不利著る筆を
 押す此より二より三より著る如き

廿八年	一月 元日	新年黒田伯と宴す 逢坂本大臣 芳川内大臣亦會す
勝山と宴す	二日	
西園寺文部大臣書状	七日	
三浦東京知事大八と舞ふ	九日	
濱邊と遊むと訪 黒田大臣と訪對飲 伊奥大臣と之	十日	
伊藤総理伊奥外務 廣島行舟所川口系り送別 伊奥	十一日	
新佐更贈、均逢黒田と宴す 松本以武 威海衛攻守	十二日	
栗本と揚本と勸説 松村男爵と宴す	十三日	
新川小西新造と初娘一將と宴	十五日	

[illegible]

一月 辛日	訪勝舟の氣昨日計逆上	嵯和使張蔭邪者瀛米入ホスタト 勝舟の舟の以テ伊知ミ者見リ進ム 後自四人多ク言フ 請使ニ億万兩ヲ出サス
二月 壬日	大八帝國大寺ヲ囑北ノ木	黒田ヨリ威海衛陷落ノ報ヲ 後ニ寄テ
二月 一日	黒田ヨリ威海衛戦闘	三ノヨリ始ム
三月 三日	晚方ヨリ黒田ヨリ酒半々有電報 嵯和使拒絶ノ始末	
四月 四日	黒田伯ヨリ電第二師團威海衛諸砲台ヲ領ノ報知	
七月 七日	黒田伯ヨリ鎮遠定遠ヲ沈メテノ報アリ	黄昏ヨリ訪黒田
八月 八日	黒田ヨリ西友電報ノ報知アリ	
九月 九日	黒田ヨリ伊東艦隊長ノ鎮遠定遠喪失ノ報アリ	
十月 十日	黒田ヨリ一セリセ	
十一月 十一日	黒田ヨリ船二艘ヲ 定遠沈没ノ後劉公嶼自弱	

三月	二月	正月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	正月
市村内清大臣新時史之贈	井上子爵政文部大臣華道之令	黒田之鳥計魚意之贈末	黒田之訪知九之次李鴻章但野手セる電被形之候	黒田之午後四時之分漁事之廣易之	夜物所及大徳寺新衣之火中ノ收得	大八事種不ノ九舞状之退じ	伊波辨理全権大臣之白書状馬関梅	晴伯良足之之候分候其内進内由夜食	税所為之之候其内進内由夜食					

[illegible]

丑月

廿八年

八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	日
午前七時 西京着 黒田伯常 石木 生 常	午前七時 新橋 汽車 西京 着 常	午前七時 新橋 汽車 西京 着 常	黒田 源 口 路 井 戸 觀 殊 花 七 時 西京 行 電 報 あり					廿八年

[illegible]

八月

[illegible][illegible]

九月

[illegible]

九月 日月	八月 日月	七月 日月	六月 日月	五月 日月	四月 日月	三月 日月	二月 日月	正月 日月
黒田、鯉魚、取并、補細、と、賜、且、初、修、祝、多	渡、多、さ、る、迄、者、所、得、一、考、を、坐、す	勝、を、珍、お、す、祝、を、補、細、一、反、と、給	渡、多、武、鯉、魚、一、考、賜	渡、多、武、鯉、魚、不、坐	大山、鯉、魚、一、考、賜	平田、武、鯉、魚、長、考、我、日、平、修、可、而、修、多	黒田、武、鯉、魚、不、忘、け、主、修、多	り、身、掛、ひ、多、さ、る、迄、者、所、得、一、考、を、坐、す

十月

[illegible]

七日月	早朝夢見西郷一と賄ひ面會を求む時夢に其	七日月	早朝夢見西郷一と賄ひ面會を求む時夢に其
八日月	西郷へ多伊敷重なる所を以て諸多細承知大山を以て保衛し	八日月	西郷へ多伊敷重なる所を以て諸多細承知大山を以て保衛し
九日月	黒田と荒川鮎とを相尾と智且之を以て甲斐地方及び賄松	九日月	黒田と荒川鮎とを相尾と智且之を以て甲斐地方及び賄松
十月	方書翰の由一晩の乞に論先刻大山の形	十月	方書翰の由一晩の乞に論先刻大山の形
十一月	牧野公大就轉任の故に諸一首を以てて書す	十一月	牧野公大就轉任の故に諸一首を以てて書す
十二月	大山の傍に梅の諸の極む所ありて眼に映る	十二月	大山の傍に梅の諸の極む所ありて眼に映る
正月	黒田書翰より一徳の所を以て物氣を感懐し洋服を就きしを以て	正月	黒田書翰より一徳の所を以て物氣を感懐し洋服を就きしを以て
二月	山内西郷來るを以て談話する所を以て來るを以てて書す	二月	山内西郷來るを以て談話する所を以て來るを以てて書す

十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	十月
休	西郷	黒田	西郷	黒田	天長節奉賀	勝	黒田	副島	手田	苗
一雨白	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗
	流	西郷	黒田	黒田	孝	竹	黒田	副島	手田	苗

休	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	十月
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

土月

夢卜子
九同北府
漢書德
松方四載

[illegible]

雨

十一

[illegible]

高橋経紀東疾
今日 丁未
此 三不東

三
日 月
外出理髮

書月
晴安芳伯來問

紅紫花是事爲也

五月
黑田リ也舞小鴨鵝卵五書

小倉信近より有好報

五月
今日黒田
訪^ツテ
謝^テ
不^ス知^ル子^ノニ
由^ルク
贈^ル

小倉信興
有子

大八
劉雨
石
大山
石

上杉家集會

平田東助ヨリ黒伯吉徳ヨリ大山心徳ヨリ

九月
聯公
謝

徳川公、新諸史
傳送、大山山鳥

九月
川村
伯
書

贈り物に
夜より力を入

上杉家上書
安齋行司書

廿月
日出置物

夜宿所、
夫婦_と共_に

上於家慰勞會急所施
子以親山者中興條後見之

世月
橋本
上杉家
近江

日 月
 大山大臣之福面會
 此日伊初福陳宅之風儀之開

五月
黒田
ヨリ
此報
五在
廻
下
在
黒田
到
波
邊
處

其月
天神、像々尊心手原心は玉成の道ふいなる

日月
新
神
や
新

廿
 日月
 番町家族
 才
 祝
 祝
 祝

三月
黒田白子
斗中事
謝久
此夜真話
アリ

三月
西卿到

[illegible]

